紹介 加納実紀代資料室が広島に開設されました

わだつみ会8・15集会での講演のなかから

加納実紀代さんは、1980年の8・15集会での講演「“見えない戦時体制”をこそ」で初登場以来、何度も講演をされた。第75号の座談会「わだつみ会の活動を考える」で、加納さんは「私のわだつみ会との出会いは、天皇制との取り組み方に対する共感です。戦争体験がそれまで体験べったりで語られていたのが、ここで普遍性を持ったものになったのではないかという気がするのです。・・・・

・・・・(わだつみ会、)しょせんあれはエリートの世界ではないかということでわだつみ批判みたいな姿勢があって、敬して遠ざける感じがありました。学生の運動だけでなく、例えばウーマンリブのような女のところに視点を合わせれば、わだつみ会は男中心、それもエリートの男中心というようなことで、二重に批判の対象になったわけです。

そんなことで、しらけて見ていた時期が長かったと思います。その後私自身が銃後史をやるようになって、戦争問題、戦争の中における民衆の問題、女の問題を考えはじめて、それを掘っていけばいくほど、底に、天皇制というか何かわかりませんが、日本的に特殊な構造にぶつかるわけで、この怪物はいったいなんだろうか、というようなことをいろいろと考えているなかで、渡辺さんに出会った。・・・・・

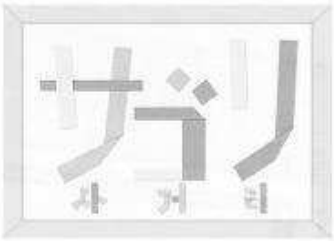
＜このあと入会の経過と天皇批判について展開される＞

「サゴリ訪問記」—松岡　勲さん

6月に広島に行った時、加納実紀代資料室サゴリに行きました。広島に行く前に、本の整理をしていて、昔入手した加納実紀代著『天皇制とジェンダー』が出てきました。本が呼ぶ時ってあるものですね。加納さんとは一度取材でお会いしたことがありました。その後、加納さんがお書きになるものに興味を持ち、読んできました。今回、サゴリで加納さんの蔵書と取材ファイル等を見ることができ、また事務局の高雄きくえさんからの生前の加納さんのお仕事についてお話を聞け、大変よかったです。帰って、『天皇制とジェンダー』を読み終わり、さらに『女たちの＜銃後＞増補新版』を読んでいますが、＜序章・私の「原爆の図」＞を読み、強い衝撃と感銘を受けました。加納さんが5歳の時の被爆体験が書かれたものです。来年広島に行った時にはもう一度サゴリを訪ねたいと思っています。

加納実紀代資料室

《現在》を問い、《歴史》から学び直す



加納実紀代(1940～2019)は「女たちの現在(いま)を問う会」(1977)を仲間と立ち上げ、『銃後史ノート』を刊行しました。その創刊号に「他者、あるいは他国の人々を踏みつけにしない私たちの解放の方向をさぐるために」(「刊行にあたって」より)とあります。約50年たった今、その目的はさらに切実になっています。

加納のその意思を継承するため、広島に「ヒロシマ」「ジェンダー・フェミニズム・女性史」「植民地主義」がクロスする資料室をつくりました。その名も「サゴリ(韓国語で交差点)」といいます。

サゴリは.被爆者であり女性史研究者であった加納実紀代の全蔵書・研究資料を中心とした資料室です。広島駅北口の山手に位置し、瀬戸内海も遠くに臨むことができます。季節ごとに鳥や喋か舞う小さな森の中に佇むサゴリは、静かに読書や研究に集中できるたけではなく、会議やイベントも可能なフリースペースもあり、まさに「交差する場」になるはずです。

加納実紀代はサゴリに近い二葉の里で被爆しています。その縁に応えるべく、サゴリが「輻輳する広島」という視座の可能性をひらく場となることを願っています。

加納実紀代資料室サゴリ
主宰　高雄きくえ　　(「サゴリ」より引用)

開室日:金・土・日・月曜日　開室時間:13:00～19:00
広島駅北口から見える丘の上、徒歩25分
住所:732-0051　広島市東区光が丘 2-53　レモンハウス
連絡:090-7137-9876　sagori.library@gmail.com

加納実紀代さんの論文の掲載された「わだつみのこえ」

第71号(1980/11/15)　③　8・15集会の記録　[報告]「“見えない戦時体制”をこそ」
第72号(1981/8/1)　③　「私の『原爆の図』」
第75号(1982/11/15)　⑬　座談会「わだつみ会の活動を考える」加納実紀代＋高橋武智＋長浜功＋平井啓之
平井啓之さん、長浜功さん、高橋武智さんと天皇問題を論議
第77号(1983/11/20)　③　学徒出陣40周年　「特攻隊委員の『犬の皮』の帽子」
「どうせ1回しか使わないのだから、犬の皮をかぶせておけ」とは
第86号(1988/7/24)　⑫　「母九津見房子・ゾルゲ事件のことども」　＜インタビュー＞　大竹一燈子に聞く
第111号(1999/11/24)⑪　8・15集会の記録　[報告]「『銃後の女』を生みだしたもの」
米田佐代子さんの「16歳で戦死した兄」を持つ短大教師の立場から
第123号(2005/11/15)⑱　8・15集会の記録　[講演]「もう一つの＜もはや戦後ではない＞」
講演とその後の「世代をつなぐ討論」の記録

*** ご希望の方には各論文のコピーをお送りいたします。コピー代と郵送費を負担ください／○内が枚数